

平成 29 年 11 月 11 日

各位

学術情報事務室

通信規格「WPA2」における複数の脆弱性について

10 月 16 日（米国時間）に、WPA2(無線 LAN の通信規格)における暗号鍵を特定される等の複数の脆弱性が公開されました。この脆弱性が悪用された場合、無線 LAN の通信範囲に存在する第三者により、WPA2 通信の盗聴が行われる可能性があります。

本脆弱性の対策は、WPA2 通信を利用している機器全て(無線 LAN・PC・スマートフォン等)に実施する必要がありますので、無線 LAN ネットワークを利用されている方におかれましては、お使いの無線 LAN 製品がこの脆弱性の対象かどうか及び対処法について、各無線 LAN 製品のメーカーのウェブサイト等にてご確認頂き、必要であれば対応をお願い致します。(なお、学内に設置させて頂いている無線 LAN アクセスポイントにつきましては脆弱性対象外となっております)

ご不明点等ありましたら、学術情報事務室までご連絡ください。

【参考】

WPA2 における複数の脆弱性について(IPA)

https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20171017_WPA2.html

問合せ窓口：

鶴見大学

学術情報事務室

mail : joho@tsurumi-u.ac.jp